

厚生労働省  
東京労働局発表  
令和2年12月18日

担 当	東京労働局職業安定部職業対策課	長	茂原 徳雄
		課長補佐	堀米 晋
		地方障害者雇用担当官	橋本 久美子
		地方障害者雇用担当官	米沢 信子
		電話	03-3512-1664(ダイヤル)
		FAX	03-3512-1566

## 東京都初の認定事業主が誕生しました

### ～障害者雇用優良中小事業主認定制度(もにす認定制度)～

厚生労働省では、令和2年4月より「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度(もにす認定制度)」を創設、実施しております。

このたび、東京労働局(局長 土田浩史)で、以下の企業を「もにす認定企業」として認定いたしました。

今後、厚生労働省及び東京労働局は認定企業に対して、広く情報発信及びPRを行い、身近なロールモデルとなっていいただくことで、東京都内における障害者雇用への理解と雇用促進を図ってまいります。



#### 認定企業

令和2年11月12日認定

- 丸紅オフィスサポート株式会社(中央区)【特例子会社】
- 東京グリーンシステムズ株式会社(多摩市)【特例子会社】
- 社会福祉法人フレスコ会(台東区)

共に進む(ともにすすむ)という言葉に由来し、企業と障害者が共に明るい未来や社会に進んでいくことを期待し、名付けられたものです。

※申請日順

#### 【認定基準項目】(主なもの)

- ① 評価基準に基づき、20点(特例子会社は35点)以上得ること
- ② 法定雇用率を達成していること。雇用義務がない場合でも、雇用率制度の対象となる障害者を1名以上雇用していること
- ③ 過去に認定を取り消された場合、取り消しの日から起算して3年以上経過していること
- ④ 障害者雇用促進法と同法に基づく命令その他の関係法令に違反する重大な事実がないこと

## 認定授与式

令和2年12月15日に認定授与式が行われました。



【写真左：東京グリーンシステムズ株式会社 北谷氏 写真右：土田労働局長】



【写真左：丸紅オフィスサポート株式会社 槻谷氏 写真右：土田労働局長】



【写真左：社会福祉法人フレスコ会 佐々木氏 写真右：土田労働局長】



【写真左から 榎本職業安定部長、社会福祉法人フレスコ会 佐々木氏、東京グリーンシステムズ株式会社 北谷氏、丸紅オフィスサポート株式会社 槻谷氏、土田労働局長】

「社員が互いに助け合い、ともに成長していく会社を目指しています」

## 丸紅オフィスサポート株式会社



所在地：東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー

従業員数：65名（うち、障害者57名） 特例子会社：該当

事業概要：丸紅株式会社及びグループ企業向けを中心とする一般事務・福利厚生支援業務、  
名刺作成・文書PDF化業務、ロジサービス業務、ビルクリーニング業務、マッサージ業務等

- ◆健康管理及び就労定着支援を目的に「健康支援室」を設置、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士などが常駐しており、勤務時間中いつでも相談できる体制を整備し、健康面のサポートを行う等、適切な就労環境を構築している。また、社員の内、障害者職業生活相談員は27人、職業適応援助者認定者は5人在籍しており、社員同士が業務連携する中で「上司から部下へ」「先輩から後輩へ」のナチュラルサポートが形成されている。
- ◆当初の名刺印刷や館内配送業務に加えて、環境サービス課/多摩センター課を新設し、本社館内や多摩センターの研修所のビルクリーニング業務を実行し、直近ではビジネスサービス課を新設し、文書PDF化業務/データ入力代行業務等を推進している。またコロナ感染防止対策の目的でアルコール消毒業務も実行するなど積極的に事業を創出している。
- ◆長期安定的な就労に期待しており、採用時の嘱託雇用(1年)を経て、原則正社員に登用の方針。正社員比率は98%で、勤続5年、10年以上の社員も多い。また、過去3年間に採用した障害者の就職1年後の定着率は98.2%である。  
※2020年6月1日現在

「多様な職域で、障がい者の社会参加と自立を支援しています」

## 東京グリーンシステムズ株式会社



所在地：多摩市山王下2-3

従業員数：151名（うち、障害者100名） 特例子会社：該当

業務概要：親会社からの受託業務（研修運営・メール集配・名刺作成・清掃・庭園管理など）

のほか、農業・売店・レストラン運営・フラワーギフトなど多岐にわたる事業を展開

- ◆幅広い職域で多様な障害者が活躍しており、部長、課長、リーダーなど管理者・指導者にも14名の障害者が配置され、業務運営や社員のマネジメントを担当している。
- ◆テレワークやフレックスタイム、時間単位の有給休暇などの導入により、通勤や通院・休暇への配慮を行っている。また、目標面談による人事考課や処遇を適切に実施して、業務遂行やキャリアアップに対するモチベーションを高めている。
- ◆「ジョブコーチ課」を設置、ジョブコーチ3名が専従で組織を横断して面談、指導、ケアを行い、サポートしている。また、ジョブコーチが講師となり障害者及び管理者を対象とした障害理解等に係る社内研修を実施して、理解の促進・啓発を充実させている。
- ◆様々な障害を持つ社員が円滑に業務遂行できるよう、IT機器や治具に加えて、「チェックシート」やメモの活用により注意事項を視覚化するなど、1日の業務の流れとやるべきことを明確にし、メリハリや集中力を高め、業務が手順通り漏れなく確実にできるように様々な工夫をしている。

「誰もが安心して働くことのできる職場を目指して」

## 社会福祉法人 フレスコ会



所在地：東京都台東区浅草5-33-7

従業員数：67名（うち、障害者4名）

特例子会社：非該当

事業概要：特別養護老人ホームの運営

- ◆2016年9月に特別養護老人ホーム・フレスコ浅草を開設。グループ法人である佐々木医院との連携により、高齢者が健康で長生きすることができる施設を目指している。2018年から取り組み始めた障害者雇用では、日々行われる業務の中から、職員の大きな負担となっていた清掃業務を切り出し、保清室に配属された障害者が担当。現在は、清掃業務のみならず、洗濯も担当するなど業務の幅を広げている。保清室では、特別支援学校生徒の実習から採用につなげたケースもある。
- ◆洗濯業務については障害のある職員が手書きのマニュアルを作成しており、これに則って業務が進められている。ジョブコーチ支援を受け、伝わりやすいマニュアル作りを心掛けている。
- ◆ビルクリーニング技能検定の取得を目標とし、現在3名が3級取得。施設内ではできない課題は、特別支援学校の先生や障害者職業能力開発校の先生にご協力頂いて資格取得につなげている。
- ◆施設内のサインデザインを色弱者に配慮したカラーユニバーサルデザインとするなど、環境整備にも配慮している。